

実施状況

9月6日(日)の授業参観日に合わせて公開授業を実施し、保護者の方々に参観していただきました。

本時は、男女が互いを理解し、信頼することの大切さに気づき、助け合おうとする気持ちを育てることをねらいとしました。事前に友達に関するアンケートをとったところ、良い友達でいるためには、困ったときに助け合うこと、親切にすること、されたくないことはしないことなどの考えが出されました。

教材文の概要是、リコーダーの得意な女子が苦手な男子に真剣に吹き方を教えるというもので、男子は初めのうちは練習に対して消極的でしたが、自分がどんどんできるようになり、最後には教えてくれた女子と心が通い合うという内容です。吹き出し式のワークシートを活用し、男子の気持ちの変化を考えさせました。性別に関係なく、自分の得意なことを教えてあげたり、自分のよさを生かしたりすることが大切であることに気づかせることができました。

児童・生徒の感想

- ・ 何かができない時や困っている時は、助け合い、教え合えばみんなできないことができるようになるということがわかりました。みんなで助け合い、教え合いながらがんばっていきたいと思います。
- ・ 自分が本気で教えれば、相手も本気で聞いてくれるので、それで友情が深まっていくのかなと思いました。
- ・ 自分が得意なことは教えてあげたり、相手が困っているときに助けてあげたりすることで、少しずつ心が通い合っていくんだなと思いました。
- ・ 男の子だから、女の子だからではなく、男女仲良くしていくことが大切だと思いました。

参観者の感想

- ・ 男女差別なく、どんな事でも協力をしながら取り組んでいければ良いと思います。
- ・ 「困ったときは助け合いながら」これは将来、仕事に就いてからも大切な事だと思います。
- ・ 今回の授業で取り上げた内容は、男・女というよりは個性の違いのような気がして、男だから、女だからというものではなかったのではと感じました。自分が4年生ぐらいの時に、男女を意識することが生活面でどんなことだったかなと考えています。
- ・ 家で子どもと今日の授業のことについて話してみたいと思います。

指導者の感想

本学級は男子と女子は仲が良く、一緒に遊んだり活動したりしています。今回の授業を通して、子ども達は、友情は信頼し合うこと、教え合うことが大事であり、男女の性別には関係ないことが分かったようです。

